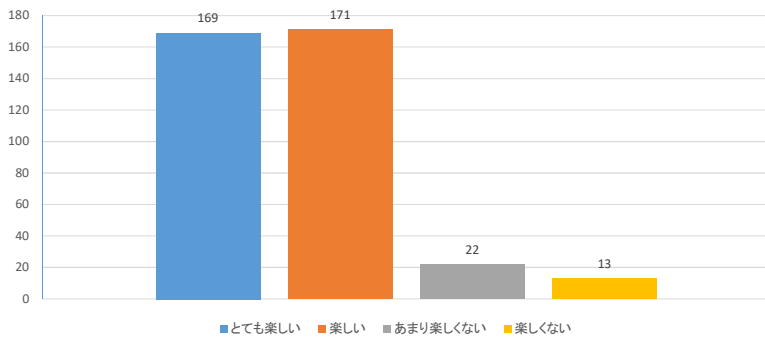


# 外国語(英語)の授業に関する児童用アンケート調査結果

宇城市立河江小学校

Q1 外国語(英語)の授業は楽しいですか？

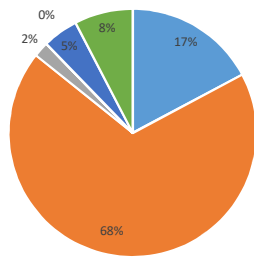


全体を通して、「とても楽しい」「楽しい」が約91%であり、積極的に授業に参加できている児童が多いと考えられる。この気持ちを保ちながら学習に取り組めるように、「分かる」「楽しい」授業展開を更に工夫していきたい。

また、「楽しくない」「あまり楽しくない」と答えた児童が約9%おり、児童の困り感をしっかりと把握しながら、すべての児童が楽しく参加できるように支援をしていきたい。

学年が上がると、学習内容がより高度になるにつれて、「楽しい」だけでなく「学習して分かる」等のとらえ方に変化していることも考えられるので、個々のつまづきを反復練習で補ったり、既習内容の補充学習を行ったりすることで、「分かった」や「できた」と感じられるようにしていきたい。

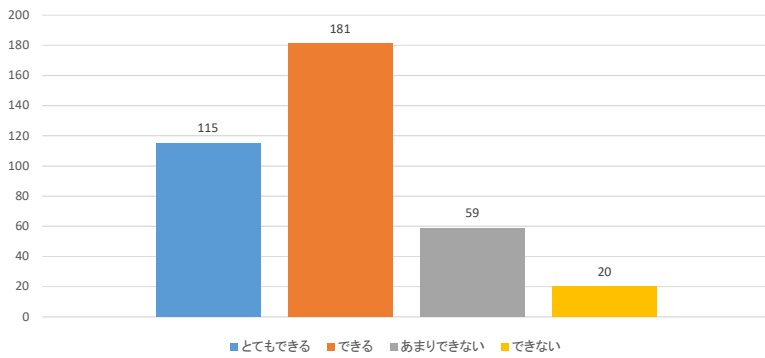
Q2 Q1で「とても楽しい」「楽しい」と答えた人は、どんなことが楽しいですか？



「とても楽しい」「楽しい」と答えた中で、一番多かったのは「ゲーム」で、3分の2以上の児童が楽しさを感じている。また、ゲームはどの学年でも楽しいと感じている児童が多く、学習意欲の保持や向上に効果的であると感じられる。

次に多いのが「歌やダンス」で約17%となっている。表現することの楽しさを感じ取って学習できている児童が多いので、英語を使って体全体で表現する楽しさが更に感じられるように、歌やダンスなどの動きのある活動を多く取り入れていきたい。また、学年により、「楽しい」と感じる内容が少しずつ異なっているため、発達段階に応じた授業展開の工夫を行ってきたい。

Q3 英語を使って友達と楽しむことができますか？

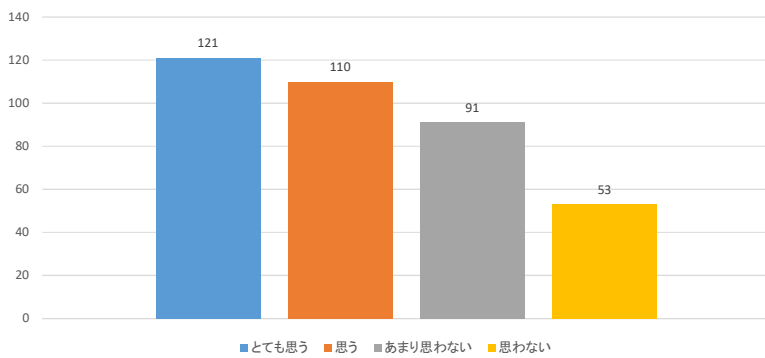


全体では、「とてもできる」「できる」を合わせて4分の3以上の児童が友だちと英語を使って楽しむことができている。

ただし、高学年になるにつれて、「あまりできない」「できない」の割合が高まる傾向が見られる。学習内容が高度になるにつれて、扱う文法や単語が増えることで、未定着の部分があり、「できない」と感じてしまう部分があると思われる。

そこで、対話活動の充実を図ることで、表現することに慣れさせていきたい。また、英語を使って友だちと通じ合えた等、成功体験を積み重ねて自信をつけていきたい。

Q4 英語を使って外国の人と話してみたいですか？



全体としては「とても思う」「思う」を合わせて3分の2ほどの児童が「話してみたい」という思いを持っている。ただ、3分の1の児童が「あまり思わない」「思わない」と答えており、原因を把握し、児童に「話してみたい」と思えるような授業改善に努めていきたい。

また、授業の内容が実際の生活に生かされると児童自身が感じられる等、児童にとって必要感のある活動にしていくことも大切であると考えられる。